

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年4月12日（火）

2 確認箇所

雑固体廃棄物焼却設備

3 確認項目

雑固体廃棄物焼却設備A系焼却炉バーナーユニット軽油供給圧力減圧弁下部からの軽油漏えい事象の対応状況

4 確認結果の概要

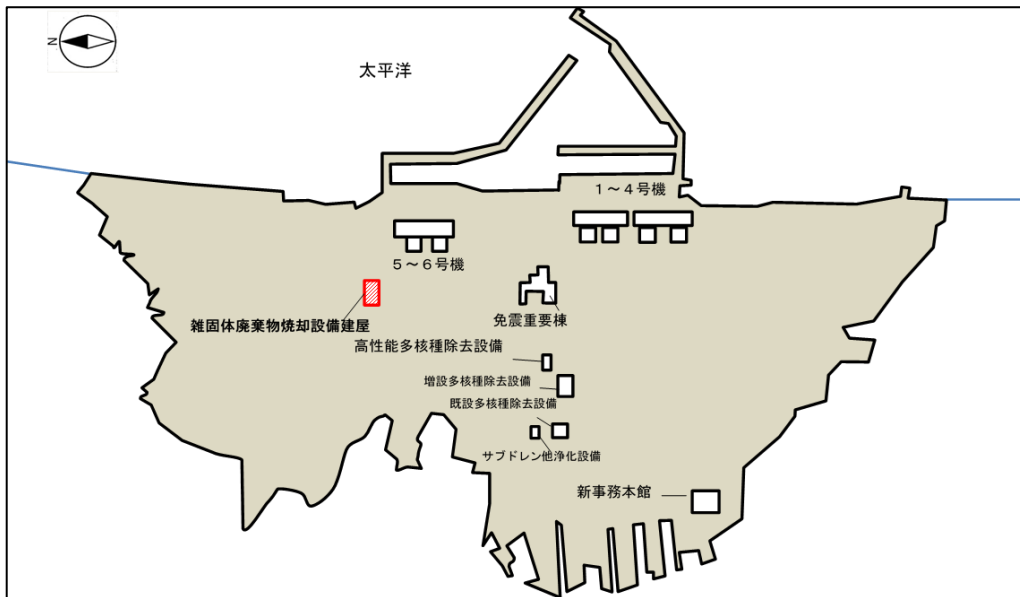
4月8日に発見された、雑固体廃棄物焼却設備^{※1}A系の焼却炉バーナーユニット軽油供給圧力減圧弁下部から軽油が漏えいした事象^{※2}の対応状況を確認した。（図1）

- ・雑固体廃棄物焼却設備A系の焼却炉バーナーユニット軽油供給圧力減圧弁の直下には、金属製の受け皿が取り付けられていた。（写真1）
- ・雑固体廃棄物焼却設備A系の焼却炉バーナーユニット軽油供給圧力減圧弁下部からの軽油の滴下は確認されなかったが、軽油の滲みが確認され、金属製の受け皿の表面が濡れていた。（写真2）
- ・軽油が漏えいした焼却炉バーナーユニットの防油堤内及びその周辺には、軽油の漏えい痕跡は認められなかった。（写真3）
- ・雑固体廃棄物焼却設備B系の焼却炉バーナーユニットでは、軽油の滲みや漏えい痕は認められなかった。（写真4）
- ・東京電力では、今後、軽油が漏えいした原因究明を行うとともに、適切に再発防止対策を講じていくとしている。

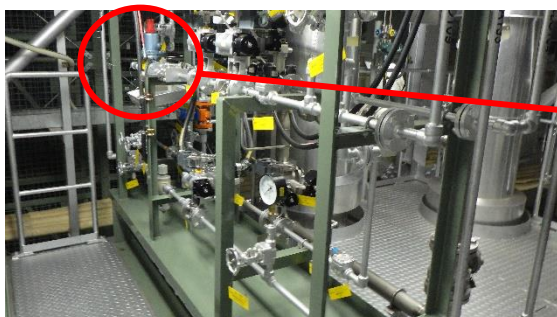
※1 雑固体廃棄物焼却設備：焼却炉（ロータリーキルン方式）、二次燃焼器、排ガス冷却器、バグフィルタ、排ガスフィルタ、排気筒等で構成される焼却設備であり、A系、B系の2系統からなる。焼却能力は7.2t/日（24時間運転）/系統で、主に使用済みの装備品（保護衣、下着類、ゴム手袋等）を焼却している。

※2 焼却炉バーナーユニット軽油供給圧力減圧弁下部からの軽油漏えい事象：4月8日22時40分頃、定例パトロール中の作業員が雑固体廃棄物焼却設備A系の焼却炉バーナーユニット軽油供給圧力減圧弁（焼却炉バーナーに供給する軽油の圧力を調整する弁）の下部から軽油が漏えいしていることを発見したものであり、当該減圧弁の上流側の弁を直ちに閉止し、22時45分頃に漏えいが停止したことが確認された。軽油の漏えい範囲は、焼却炉バーナーユニットの防油堤内（約2.3m×約0.6m×高さ約3cm）及び防油堤周辺の約2m×約3m×高さ約1mmであり、4月9日2時13分に、すくい取りや拭き取りにより漏えいした軽油の回収が完了した。

なお、雑固体廃棄物焼却設備は年次点検中であり、運転を停止していた。



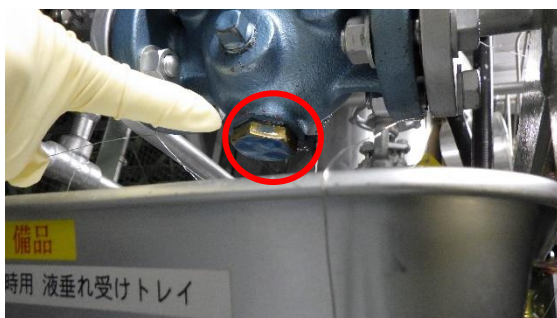
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
A系焼却炉バーナーユニットの概観



(写真1-2)
A系焼却炉バーナーユニット軽油供給圧力減圧弁の状況



(写真2-1)
A系焼却炉バーナーユニット軽油供給圧力減圧弁下部の軽油の滲み状況

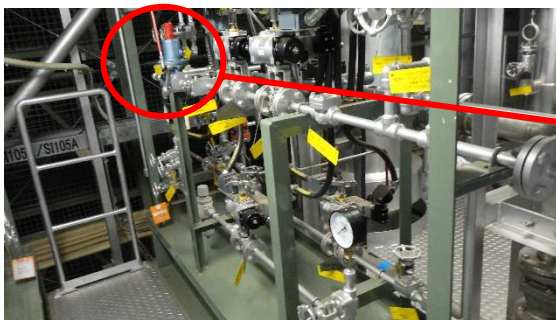


(写真 2 - 2)
受け皿表面の濡れの状況

※赤丸の範囲に濡れが確認された。



(写真 3)
A系焼却炉バーナーユニット防油堤
及び周辺の状況



(写真 4 - 1)
B系焼却炉バーナーユニットの概観



(写真 4 - 2)
B系焼却炉バーナーユニット軽油供給
圧力減圧弁の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。